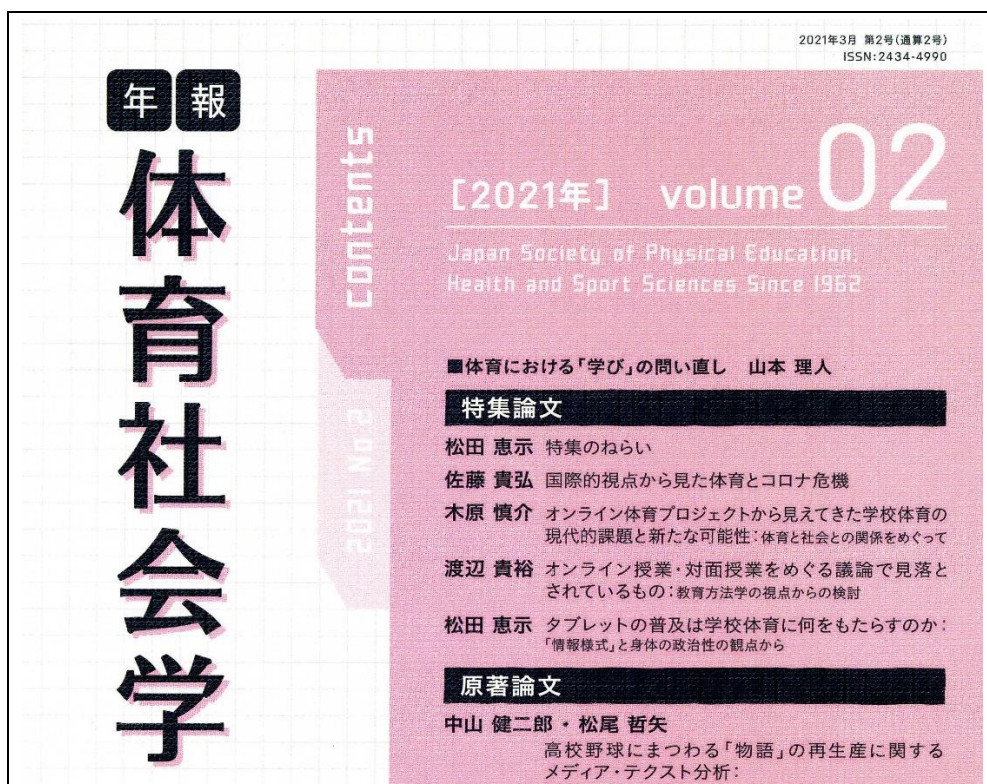


News Letter

2021
Spring issue

令和3年5月31日発行

*Japan Society of Physical Education, Health and Sport Sciences
Division of Sociology of Physical Education and Sport*



日本体育学会
体育社会学専門領域

事務局：〒270-1695

千葉県印西市平賀学園台 1-1

順天堂大学スポーツ健康科学部

黒須充研究室内

TEL: 0476-98-1001(代表)

E-mail: mkurosu@juntendo.ac.jp

< 目 次 >

2021 年からの代表および評議員……………1

各種委員会委員について……………1

「年報 体育社会学 第2号(2021)」の
発刊について……………2

日本体育・スポーツ・健康学会
第71 回大会について……………3

生沼芳弘先生の訃報について……………5

事務局より……………5

2021～2023年度 体育社会学専門領域評議員 代表および評議員

2021年6月1日から2023年5月31日までの代表および評議員が決定致しました。

■ 代表

山口 泰雄（流通科学大学）

■ 全国選出

水上 博司（日本大学）、工藤 保子（大東文化大学）、石坂 友司（奈良女子大学）、
北村 尚浩（鹿屋体育大学）、前田 博子（鹿屋体育大学）、松尾 哲矢（立教大学）

■ 地区選出

・北海道／東北地区選出

前田 和司（北海道教育大学）、山本 理人（北海道教育大学）

・関東／甲信越地区選出

高尾 将幸（東海大学）、工藤 康宏（順天堂大学）、渡 正（順天堂大学）

・東京地区選出

松田 恵示（東京学芸大学）、稲葉 佳奈子（成蹊大学）、宮本 幸子（笹川スポーツ財団）

・東海／北陸地区選出

大勝 志津穂（愛知東邦大学）、千葉 直樹（中京大学）

・近畿地区選出

伊藤 克広（兵庫県立大学）、稲葉 慎太郎（天理大学）、土肥 隆（兵庫県立大学）

・中国／四国地区選出

原 祐一（岡山大学）、岡安 功（広島経済大学）

・九州地区選出

藤井 雅人（福岡大学）、山田 力也（西九州大学）

各種委員会委員について

■ 体育社会学専門領域 各委員会委員：任期 2021年6月1日から2023年5月31日

研究委員会、編集委員会、学生研究奨励賞選考委員会、専門領域賞選考委員会、広報委員会、監事、事務局の各種委員会の構成につきましては決定し次第連絡致します。今暫くお待ち下さい。

■ 「体育学研究編集委員会」委員：任期 2021年4月1日から2023年3月31日

依田 充代（日本体育大学）継続

奥田 睦子（京都産業大学）継続

高橋 義雄（筑波大学）新規

谷口 勇一（大分大学）新規

■ 「IJSHS 編集委員会」委員：任期 2021年4月1日から2023年3月31日

山口 理恵子（城西大学）継続

海老島 均（成城大学）新規

令和3年3月31日に「年報 体育社会学 第2号(2021)」が発刊されました。

- 巻頭言 山本 理人
体育における「学び」の問い直し

- 特集論文 松田 恵示
特集のねらい
佐藤 貴弘
国際的視点から見た体育とコロナの危機
木原 慎介
オンライン体育プロジェクトから見えてきた学校体育の現代的課題と新たな可能性：
体育と社会との関係をめぐって
渡辺 貴裕
オンライン授業・対面授業をめぐる議論で見落とされているもの：
教育方法学の視点からの検討
松田 恵示
タブレットの普及は学校体育に何をもたらすのか：
「情報様式」と身体の政治性の観点から

- 原著論文 中山 健二郎・松尾 哲矢
高校野球にまつわる「物語」の再生産に関するメディア・テキスト分析：
「完投型」から「継投型」への変化に着目して
笹生 心太
日本人選手は「身体能力」に劣るのか：サッカー専門誌に見られるナショナリズム

- 書評 伊藤 克広
スポーツクラブの社会学：『「コートの外」より愛をこめ』の射程／
水上 博司・谷口 勇一・浜田 雄介・迫 俊道・荒井 貞光
工藤 保子
パラスポーツ・ボランティア入門：共生社会を実現するために／
松尾 哲矢・平田 竹男 編

- 2020 年度専門領域活動報告

- 編集後記 長ヶ原 誠

「年報体育社会学」編集委員会では論文等の投稿を受け付けております。投稿先を検討中という会員の皆様には、是非とも「年報体育社会学」へのご投稿を検討ください。

なお、投稿には締め切りはございません。年間を通じて投稿を受け付けておりますので、何卒よろしくお願いたします。詳細は、「投稿に関わる諸規程等一覧」をご覧ください。

http://pesociology.jp/wp/wp-content/uploads/annualreport_regulations_20181008.pdf

「年報体育社会学」J-STAGEはこちらからご覧いただけます。
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/arspes/-char/ja>

一般社団法人 日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会について

標記学会大会が下記の内容で開催されます。詳しくは以下のHPをご覧ください。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jspehss71/top>

- テーマ：共生社会への新たな扉を開く ―日本体育・スポーツ・健康学会へ―

- 会期ならびに開催形式：[会期] 2021年9月7日（火）～9月9日（木）
[開催形式]オンライン開催

- 大会スケジュール：7日 [午前] オープニングセレモニー／総会／本部企画シンポジウム
[午後] テーマ別研究発表およびテーマ別シンポジウム
8日 テーマ別研究発表およびテーマ別シンポジウム
9日 専門領域別研究発表およびキーノートレクチャー

	午前		昼	午後		夕方
1 日 目	オープニング 総会	本部企画シンポジウム(1) 本部企画シンポジウム(2)	名誉会員 懇談会 (昼休憩)	テーマ別研究発表 スポーツ文化(A) 学校保健体育(A) 競技スポーツ(A) 生涯スポーツ(A) 健康福祉(A)	テーマ別シンポジウム スポーツ文化(A) 学校保健体育(A) 競技スポーツ(A) 生涯スポーツ(A) 健康福祉(A)	交流 企画 (予定)
2 日 目	テーマ別研究発表 スポーツ文化(B) 学校保健体育(B) 競技スポーツ(B) 生涯スポーツ(B) 健康福祉(B)	テーマ別シンポジウム スポーツ文化(B) 学校保健体育(B) 競技スポーツ(B) 生涯スポーツ(B) 健康福祉(B)	地域協力学会 連絡会議 (昼休憩)	テーマ別研究発表 スポーツ文化(C) 学校保健体育(C) 競技スポーツ(C) 生涯スポーツ(C) 健康福祉(C)	テーマ別シンポジウム スポーツ文化(C) 学校保健体育(C) 競技スポーツ(C) 生涯スポーツ(C) 健康福祉(C)	
3 日 目	専門領域別企画 研究発表／キーノートレクチャー		諸会議 (昼休憩)	専門領域別企画 研究発表／キーノートレクチャー		専門 領域 連絡 会議

- 学会本部企画
シンポジウム
 - (1) 体育・スポーツ・健康科学を基盤とした Evidence Based Sport Policy の開発に向けて（仮）
 - (2) 若手研究者に求められる体育・スポーツ・健康科学の社会的使命：「学際性」のリアルとロマン

■ 応用(領域横断)研究部会企画

スポーツ文化研究部会シンポジウム

- (A) SDGs とスポーツとの接点を探る
- (B) スポーツの理想とその暴力性：多様なスポーツ文化の醸成へ向けたスポーツ研究の自己反省
- (C) スポーツ文化の浸透戦略 (1)：文化の保存・流通の批判的検討から

学校保健体育研究部会シンポジウム

- (A) 大学体育の社会的使命とその実現可能性を考える：歴史の変遷からみる大学体育の現在地
- (B) より良質な保健体育授業の具体像を考える：
コロナ禍の保健体育から、あらためてその意義と価値を整理する
- (C) 科学的エビデンスからみた保健体育のカリキュラムと学習指導：
学習指導要領の内容と保健体育授業の実状との乖離

競技スポーツ研究部会シンポジウム

- (A) トップアスリート養成の拠点としての大学の意義と問題点
- (B) パラ競技スポーツにおけるコーチ養成の現状と今後の方向性
- (C) ハイパフォーマンススポーツ（トップレベルの競技スポーツ）におけるフィジカルトレーニングの新たな潮流

生涯スポーツ研究部会シンポジウム

- (A) 共生社会と生涯スポーツは共存できるのか：スポーツのパラダイムチェンジが共存への鍵
- (B) Well-Being の実現にむけて：生涯スポーツのこれからと社会・産業、そして人
- (C) 国民の運動・スポーツ参加の現状および問題点：国民のスポーツ権を保障するための施策立案に向けて

健康福祉研究部会シンポジウム

- (A) ライフスタイルに応じた健康増進・体力向上の捉え方：「女」を生きることと健康・スポーツ
- (B) 認知機能改善のための身体活動の在り方
- (C) テレワーク時代における心身の健康の保持増進の工夫と提言
(新しい生活様式と健康の保持・増進)

■ 専門領域別企画

本専門領域で企画する内容および研究発表につきましては後日、お知らせ致します。

生沼芳弘先生の訃報について

本専門領域の発展に多大なる貢献を果たされました 生沼 芳弘 先生が、去る 5 月 18 日に逝去されました。先生の逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

事務局より

1. 会員動向：体育社会学専門領域の会員数は、2021 年 5 月 17 日現在 357 名です。
2. 会員情報変更：日本体育学会会員の名簿管理は学会本部が行っております。勤務先の移動、住所・所属などの変更があった場合は、すみやかに「会員情報変更届」(『体育学研究』に添付)を学会本部事務局に FAX または封書で送付してください。学会本部とともに専門領域事務局にもメールでご連絡いただくと助かります。
3. 会則および諸規定等の改訂版について：諸規定等の改訂版は、随時専門領域ホームページに掲載していますので、ご確認ください。
4. 本ニュースレター中にも記載がありますが、今年度の委員会体制や、日本体育・スポーツ・健康学会第 71 回大会中の本専門領域で企画する内容および研究発表につきましては、後日、HP にてお知らせ致します。いましばらくお待ち下さい。

事務局メールアドレス ykudou@juntendo.ac.jp (工藤)

あとがき

オリパラ開催の是非に揺れる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか？ 今号は「春号」としてお届け致します。

諸々の成り行きに、「体育・スポーツ・健康」を「生業」とする者として本当にヤキモキしております。今となっては、全ての人々が満足する結果とはならないかとは思いますが、どうにかして、我々の「生業」が、最低限の対面を保つことができることを祈っております。

皆さま方もくれぐれもご自愛下さい

石澤 伸弘 (広報委員会)